

3年生 総合的な学習

3年1組 「いいところ たく3！ お三の宮通り」

3年生に進級し、社会科やともだちの学習が始まりました。「日枝のまちってどんなまちかな？」を調べるためにまち探検をしていると、なんだか他の通りとは違う雰囲気、「お三の宮通り」を見つけました。この通りには、何かある……。そう思った子どもたちは早速探検スタート。すると、灯籠や道標、キャラクター、歴史や文化を知らせる看板……。など、他の通りにはない、この通りならではのものがあることに気がきました。「あれは何だろう」「だれが作ったのかな」「何のために？」といった疑問が子どもたちの中に生まれ、ともだちの時間に詳しく調べることになりました。

まず、子どもたちが取り組んだのは灯籠のひみつです。探検を繰り返し、5種類の灯籠があること、南吉田町の1丁目～5丁目までに2個ずつ設置されていること、毎年例大祭には蝋燭で灯りを灯していることが分かりました。さらに、灯籠を作ったまちの方に出会い、いつ、どうして、どのように灯籠を作ったのかななどの謎解きをはじめました。インタビューを行い、「この通りがみんなの庭だと思ってほしい」「昔のようにもっとたくさんの人にこのまちに来てほしい」といった思いや願いが、手作りの灯籠にはこめられているということを知りました。「もししかしたら、灯籠以外のものにも、誰かが作った人がいて、作った理由などがあるのかもしれない……」そんな予想を立てた子どもたちは、今日も元気に、お三の宮通りに繰り出し、温かくて優しいまちの人と交流しながら、謎解きにチャレンジしています。

3年2組 「日枝のまちでいっしょになかよくくらそう！ウルトラ鳥（バード）大作戦」

社会科のまち探検で訪れた池下橋公園で鳥の巣箱やえさ台を発見。子どもたちがえさ台から数メートル離れた所にいても、スズメたちが次々とえさを啄みにやって来ました。「巣箱やえさ台を作ってみたい。」「木材なら自分の家の近くでもらえるよ。」と、早速、建築工房等で木材をもらってきた子どもたち。こうして、鳥の巣箱を作って日枝小に鳥をよぼうと活動は始まりました。

こうして、巣箱作りに向かって取り組もうとしていると、今度は、「マンションの壁の換気扇の中に鳥が巣を作っている」という情報が。えさをくわえたムクドリがその換気扇の中に入っていくと、雛たちのにぎやかな鳴き声が聞こえてきました。また、まちの電柱や看板のすき間にスズメたちが巣を作っていることも発見しました。「あ、今、スズメが入っていった！」巣は、まちのあちらこちらに。さらに、ツバメの巣では、雛たちが親鳥がえさを持ち帰るのを待っているところや親鳥がかっこよく飛ぶ姿に心を寄せました。日枝のまちにはどんな鳥がいるだろう。他にも鳥の巣はあるのかな。バードウォッチングの時間がとても楽しみになりました。

教室のベランダに試しに取り付けた巣箱には、スズメが巣を作り始めているようです。「鳥たちが少しでも安心して卵を産んだり、雛を育てられる所を作ってあげたい。」「鳥のかわいい鳴き声で、日枝小学校が明るくなるといいな。」と、自分たちが作った巣箱に鳥たちがやって来ることに思いを膨らませています。

3年3組 「サン3 中村橋商店街」

4月当初、昨年の活動を振り返ったところ、「亀を世話した。」や「子ども110番を広めた。」「公園の人となかよくなった。」という声が上がりました。今年の活動でどんなことをしたいか尋ねると「去年の3年生みたいにまちの人にほめられる3年生になりたい。」「3年生だから、レベルアップしたい。」と成長したいという思いが聞けました。社会科の学習で自分たちのまちについて調べていく際、長く続いているお店は日枝のまちのことに詳しいと仮定し、まち探検をしました。3回目のまちたんけんの中村橋商店街という商店街を見つけました。その中村橋商店街は約

40年前まで市電が走り、その周辺に生活する人々のみならず、多くの人の生活を支えてきた歴史ある商店街であるため、中村橋商店街の店の人にインタビューをすれば、より日枝のまちを知ることができるかと中村橋商店街を題材に活動が始まりました。

中村橋商店街でインタビューをしていくと中村橋商店街の店の人から「今は、商店街ではなくなった。」と聞き、どうして商店街ではないのか、どうして、店が減ったのかを調べました。すると、市電廃止や時代の流れとともに中村橋商店街に訪れる客が減り、店も減っていると聞くことができました。しかし、そこには今なおも店を続け、周囲の人々を支えている店があることに気づき「なぜ、店を続けているのか」「またスーパーと個人店の違い」を調べながら、中村橋商店街の店の人々の客に対する気持ちや、商品、商店街に対する気持ちを聞き、「やっぱり、豆腐屋さんは朝からがんばっているな。」「米店は、スーパーと違い、買った後に精米していておいしそう」などと店の人と関わりを深めています。